

令和8年度 教育指導の重点及び学校経営計画

学校番号	36	学校名	加茂高等学校（全日制）
------	----	-----	-------------

社会的役割等 (スクール・ミッション)	文武両道の校風のもと、地域から信頼される伝統ある高校として探究を柱とした、主体的で深い学びを実現する教育活動を通して未来を切り拓く力を備え、地域社会に貢献できる人材の育成を目指す学校		
学校教育目標 (教育方針)	「文武両道」の校風を生かして、「高い学力」「健康でたくましい心身」「豊かな人間性」を備え、自立した生徒を育成する。		
3つの方針 (スクール・ポリシー)	どんな生徒を育てたいか【GP】	<ul style="list-style-type: none"> 自分の個性や適性に合った目標を定め、最後まで粘り強く挑戦できる生徒 様々な課題を発見し、他者と協力しながら、主体的に課題解決に向けて取り組める生徒 人と繋がる力を養い、多様な価値観を理解して、将来地域社会でリーダーとして活躍できる生徒 	
	生徒をどう育てるか【CP】	<ul style="list-style-type: none"> 「自律した学習者」となるよう個に応じた適切な支援を行いながら、進路目標の実現に向けて意欲的に学習できるよう、3年間を見通したキャリア教育を推進 基礎・基本から深い学びまでを視野に入れて授業を組み立てるとともに、科学的な探究心や知的好奇心を喚起し、地域と協働して地域社会に向けて発信できるような課題解決型の学習を推進 様々な学校行事、部活動、ボランティア活動等、互いに協力しながら一人一人が活躍できる場面を通じてコミュニケーション能力や社会性を養えるよう、3年間を見通した計画的な活動を推進 	
	どんな生徒を待っているか【AP】	<ul style="list-style-type: none"> 多様な学びに自ら取り組み、自分の可能性に挑戦し、将来の目標を実現しようという意欲のある生徒 学校行事や部活動等の活動に積極的に参加し、充実した学校生活を築いていこうという意欲のある生徒 社会と積極的に関わりをもち、一人一人の個性を尊重しながら相手を思いやり、協働して物事を進めようという意欲のある生徒 	
学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> 確かな学力の定着と、探究につながる教科指導の充実 基礎学力の定着と探究的な学びを生かした主体的な進路選択 品格と主体性を重んじた学校生活の推進 働き方改革の促進に努め、学び続ける教職員集団の育成 		
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標	
	学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 各教科において、学習内容の基礎・基本を重視した授業を行うとともに、思考・判断・表現を促す学習活動を取り入れ、確かな学力の定着を図る。 今年度1年次生からのBYODの実施を踏まえ、生徒一人一台端末を効果的に活用した授業実践を推進するとともに、思考力や探究力を高めるためのタブレットを活用した授業研究や校内研修による授業改善を図る。 学習支援アプリ(Classi等)を活用して生徒一人ひとりの学習状況を把握し、能力や適性に合った指導や支援を行うことで、個に応じた教科指導を充実させる。 	
	進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 探究活動やキャリア教育を通して、社会との関わりや地域の課題に触れながら、自身の関心や適性を見つめ、主体的に進路を考える力の育成を図る。 学年・年次段階に応じた進路指導計画のもと、面談や情報提供を行い、3年間を見通した系統的な進路指導を推進する。 生徒の学習状況や希望進路を踏まえ、補習や模試等を活用した個に応じた進学指導を行い、生徒の進路実現を支援する。 	
	生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 命の大切さを理解させ、交通ルールを遵守する態度を育成するとともに、法改正の趣旨を踏まえた交通安全指導を行い、自転車利用時におけるヘルメット着用率の向上を図る。 県事業「地域課題探究型学習推進事業」を核とした探究活動を展開し、生徒が地域課題に主体的に向き合い、他者と協働して課題解決に取り組む経験を通して、探究心と豊かな人間性を育成する。 生徒指導と教育相談を充実させ、日常的な生徒理解に基づく支援を行うとともに、生徒・教師、保護者・教師、教師同士の対話とコミュニケーションを大切に、主体的に行動できる力と、規律ある学校生活を支える信頼関係の構築を図る。 	
	学校経営	<ul style="list-style-type: none"> 校務分掌・会議・行事等の在り方を見直し、役割と責任を明確化することで業務の効率化と負担の平準化を図り、働き方改革を組織的に推進する。 「8のつく日・No残業 Day」や最終退勤時間を意識した勤務を徹底し、勤務時間を意識した持続可能な働き方を学校全体で定着させる。 校内研修や授業研究を通して、教職員が互いに学び合い、探究的な学びや基礎学力育成を支える教科指導力・授業力の向上を図る。 教職員間の対話と協働を重視し、課題や実践を共有し合える風通しの良い組織文化を醸成する。 	

領域分野	年度目標			年度末評価(自己評価)			
	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な具体的取組・方策	県教育振興基本計画での位置付け	達成度の判断・判断基準あるいは評価指標	取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A.B.C.D	成果と課題	総合評価 A.B.C.D
学習指導	・基礎・基本を重視した教科指導の徹底	施策Ⅱ-8	・調査や模試における学力層別分布の変化				
	・1年次BYODを生かしたタブレット活用授業の実践	施策Ⅱ-9	・授業アンケート「授業が分かりやすい」肯定的回答率(80%以上)				
	・タブレット活用をテーマとした授業研究・研修の実施	施策Ⅱ-9	・タブレット活用授業の実施率(80%以上)				
	・Classiによる学習記録と振り返りの定着	施策Ⅱ-8	・教師間の授業評価・研究協議の実施回数(2回以上)				
進路指導	・探究活動・キャリア教育と進路指導の関連付け	施策Ⅳ-20	・進路に関する生徒アンケート「自分の進路を自分で考えている」肯定的回答率(80%以上)				
	・年次段階に応じた計画的な進路指導の実施	施策Ⅱ-13	・面談実施率(全生徒100%)				
	・面談・補習・模試等による個別支援の充実	施策Ⅱ-13					
	・早期からの進路意識形成指導	施策Ⅱ-13					
生徒指導	・交通安全指導・命の教育の計画的実施	施策Ⅰ-1	・ヘルメット着用率(50%以上)				
	・法改正を踏まえたヘルメット着用指導の徹底	施策Ⅰ-1	・交通事故件数(前年発生件数より減少)				
	・「地域課題探究型学習推進事業」を核とした探究活動	施策Ⅱ-13	・いじめ・問題行動の初期対応完了率(100%)				
	・日常的な生徒理解に基づく教育相談の充実	施策Ⅰ-3	・生徒アンケート「学校は安心して過ごせる」肯定的回答率(80%以上)				
	・生徒・保護者・教職員間の対話の重視	施策Ⅰ-7					
学校経営	・校務分掌・会議・行事の精選と役割の明確化	施策Ⅳ-27	・月時間外在校等80時間以上数(前年度比50%以上減)				
	・「8のつく日」「No残業Day」の明示と遵守	施策Ⅳ-27	・職場研修実施回数(年間2回以上)				
	・授業研究、校内研修の計画的実施	施策Ⅱ-8	・教職員アンケート「業務の見通しが特である」肯定的回答(80%以上)				
	・教職員間の情報共有と対話の促進	施策Ⅳ-26					

来年度に向けての改善方策等	実施日:令和9年 月 日	学校関係者評価	実施日:令和9年 月 日